

質 問	回 答
<p><b>1. 建設工事及び設計・コンサルティング業務に関する入札・契約手続の運用状況等について</b>            本学施設部における建設工事及び設計・コンサルティング業務に関する契約方法の基準等を前回開催時点の基準等と比較し説明を行った。</p> <p><b>2. 審議対象建設工事及び設計・コンサルティング業務の抽出結果および抽出案件の審議について</b></p> <p>■建設工事            1) 一般競争方式：政府調達に関する協定適用対象工事</p> <p>●大阪大学（吹田）大阪産官学民オープンイノベーション拠点新営その他工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合評価審査委員会は常時開いているのか。</li> <li>・評価点が最も高い入札参加者との契約ではないが、評価点というのほどの程度重視されるものなのか。</li> <li>・評価点が低い業者と契約しても大丈夫なのか。</li> <li>・落札業者との過去の契約実績はあるのか。</li> </ul> <p>●大阪大学（吹田）工学AR棟改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・落札が100%となっている理由を伺いたい。</li> </ul>	<p>(特に意見はなし)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な時に開催している。</li> <li>・予定価格の範囲に達しないと評価点が考慮されないということになっており、評価点が高くても、予定価格の範囲に達しなければその評価点は評価の対象とならない。</li> <li>・入札参加者から提出された資料等で受注者として問題なければ標準点として100点が付与されている。加算点が低くても本学が求めている基準には達していることになっている。</li> <li>・何度か契約も締結しており、実績もあり、契約相手として特に問題はない。</li> <li>・本件は開札の結果、落札には至らず、入札金額が最も安価だった入札参加者と不落随契を締結するために見積合わせを実施した。不落随契で</li> </ul>

質 問	回 答
<p>・ただちに2回目の開札を行うことが出来なくなったのが電子入札システムの誤操作であったということであるが、具体的に誤操作とはどんなことであったのか。</p> <p>●大阪大学（吹田）医学部附属病院外来・中診療無停電電源装置改修工事</p> <p>・落札率が約40%と極端に低いが無問題か。</p> <p>・企業として採算は取れるのだろうか。</p> <p>・いくら以下はダンピングという基準はないのか。</p> <p>・実際の装置に問題は無かったのか。</p>	<p>は見積もり合わせを実施するが、回数制限がないため業者としてはできるだけ高く受注するため、10万円ずつ刻んで減じた金額で見積書を提出され、その結果予定価格と同額となり、落札率100%となった。</p> <p>・施工体制確認型では金額によって点数が異なるため、電子入札システムも開札後でなければ点数は入力できなくなっているが、先に入れてしまったという誤操作であった。それまでも施工体制確認型を経験していたが、2回目の経験がなかったため、間違っているという認識がなかった。</p> <p>・低入札調査のとおり、会社の規模は全国展開しており、大きな病院の高度な技術力を要する装置に関して、各地で実績があり、効率よい生産性で安く製品を納品することができている。また、作業員に関しては同一敷地内で別件工事があったため、安価に応札することができた。</p> <p>・建築工事と異なり設備工事では、調達した設備の価格により、このような低入札がありえると認識している。</p> <p>・最低基準価格というのがある。以前はもっと設定される金額は低かったが、国もダンピングの幅を狭めようという意向であり、本学もそれに追随している。そのため、低入札価格調査をしなければならぬことも多くなっている。</p> <p>・3月に工事は完成し、工事自体問題はなく、いい物が安く入手できたと認識をしている。</p>

質 問	回 答
<p>●大阪大学（吹田）生命機能B・C棟外壁等改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施工体制の評価項目というのは、タイルが剥離したという案件ではその配点がどのように効いているのか。</li> </ul> <p>●PHS用アンテナ更新工事（Ⅲ期）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事を3回に分けているが、随意契約するために分割発注しているのではないか。</li> <li>・トータルでこのくらいかかるというのはわかっていて、そのことについてどこかで承認はされているのか。</li> <li>・受注している業者は違うのか。</li> </ul> <p>●大阪大学箕面新キャンパスLEED認証取得支援業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本業務の内容について説明願いたい。</li> <li>・LEED認証取得のための条件とはたくさんあり、受注者には何を求めるのか。</li> <li>・経済的な効果のようなものは見込めるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工体制確認型というのは、予定価格に近い方が評価点が高くなり、落札者になりやすくなるということで、安くして品質の悪い工事をしようという応札者が落札者になりにくいという仕組みになっている。</li> <li>・本学附属病院では医師、職員等の連絡のためにPHSを使用しており、300以上のアンテナがあるが、寿命が短く、老朽化したら更新していく必要がある。年次計画で3年に分け、本件が3回目の工事となった。</li> <li>・金額にして全体で2千万円ほどになり、年度計画表で承認されている。それを予算化するときには予算の平準化が求められているためこのようになった。</li> <li>・受注業者は同じである。毎年数社から見積を徴取し、見積合わせを実施している。</li> <li>・LEEDとは建物と敷地利用についての国際的な環境性能評価システムで、本件は建設予定である本学の箕面新キャンパスにおいてこのLEED認証の取得を目指しており、本件はそのための支援業務の契約を締結するというものである。</li> <li>・項目が100くらいあり、それらが設計と合致しているかなど、認証取得に必要な助言を求めたり、申請手続き等を行ってもらおう。</li> <li>・LEEDを取得している大学が少ない。建物単位では持っている大学はあるが、本学はキャンパス単位での取得を目指しており、そういう意味では経済的な効果というよりは大学の評価をあげることが目的である。</li> </ul>

質 問	回 答
<p>・ L E E D取得のためにコストがかかるのでは。</p> <p><b>3. 指名停止等の措置状況について</b> 平成29年度に措置した指名停止の案件について説明を行った。</p> <p>・ 同じ会社名が2回でてきているが、同じ会社に対し1年以内に2度指名停止をおこなったということか。</p> <p><b>4. その他</b> <b>再苦情処理については申立てが無かった旨を報告</b></p> <p><b>談合の疑義事実案件の無かった旨の報告</b></p> <p>・ 附属病院の設計業務について伺いたい。同じ工事について「実施設計」となっている業務が2つあるのはなぜか。</p> <p>・ 通常基本設計から入るが、前年度に基本設計が随意契約で行われ、同じ業者で今回実施設計を行っているのは随意契約とするため意図的に分割したのではないか。</p> <p>(次回の開催について) 平成30年4月から翌年3月までの案件を審議対象とし、来年5月～6月頃に開催することについて了承いただいた。</p>	<p>また、国際認証であるので、グローバルキャンパスを目指し、国際的な活動をしていきたいという一環としてもL E E Dの取得を目指したい。</p> <p>・ 建物の建設コストは上がると思われる。</p> <p>・ 一定期間内に2度指名停止を受けると重くなり、2回目は通常2ヶ月間のところが3ヶ月間の指名停止になる。いずれも原因は積算の間違いであった。</p> <p>(特に意見はなし)</p> <p>・ 実施設計が2つあるのは池の上に鉄骨造の人工地盤を設計するというので、これについては建築の設計事務所にとということになり、空地については土木の設計事務所に依頼したためである。</p> <p>・ 基本設計が終わった時点では、まだ計画の実施が決定しておらず、その後に実施を決定したため、実施設計に入った。随意契約とするため意図的に分割したのではない。</p>